

5 ソルガム

(1) 国際的なソルガム需給の概要

○2009/10年度のソルガム需給（予測）のポイント

ソルガムの供給面では、米国で減少するものの、アルゼンチン、インド、ナイジェリア等で増加することから世界の生産量は増加が見込まれている。需要面では、米国等で減少するものの、インド、ナイジェリア、メキシコ等で増加することから、世界の消費量は増加が見込まれている。期末在庫量については、生産量が消費量をわずかに下回ることから減少し、期末在庫率は減少すると見込まれている。

【生産量】

生産量は、主要な生産・輸出国である米国等で減少するものの、アルゼンチン、インド、ナイジェリア等で増加することから世界全体では前年度より0.5百万トン増加（0.8%）し、62.5百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.8百万トン上方修正されており、国別には、インド等で上方修正された。

【消費量】

消費量は、米国、EU等で減少するものの、インド、ナイジェリア、メキシコ等で増加することから、世界全体では前年度より0.5百万トン増加（▲0.8%）し、62.5百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.9百万トン上方修正されており、国別にはインド、スーダン等が上方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より0.4百万トン増加（9.0%）し、5.5百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国ではアルゼンチンや貿易量の約6割を占める米国で輸出量の増加が見込まれている。一方、輸入国では、メキシコで生産量の増加による輸入量の減少が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、行われていない。

【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量が消費量をわずかに下回ることから世界全体では前年度よりわずかに減少（▲0.7%）し、4.5百万トンとなり、期末在庫率は7.2%（0.1ポイント減）と減少する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.1百万トン下方修正されており、国別にはスーダンで下方修正、米国、アルゼンチン等がわずかに上方修正された。

表－1 世界のソルガム需給

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	63.3	62.0	62.5	0.8	0.8
ナイジェリア	10.0	11.0	11.5	-	4.5
米国	12.6	12.0	9.7	0.0	▲19.4
インド	7.9	7.2	8.0	0.5	10.5
メキシコ	6.2	6.3	6.7	-	5.6
スーダン	4.5	4.7	4.7	-	0.0
アルゼンチン	2.9	1.7	3.3	-	98.8
エチオピア	2.7	2.6	2.6	-	▲0.7
消費量	63.1	62.0	62.5	0.9	0.8
うち飼料用	29.2	26.3	25.7	0.2	▲2.6
ナイジェリア	10.0	11.0	11.5	-	4.6
メキシコ	7.2	8.6	8.8	-	1.7
インド	7.9	7.2	8.0	0.5	11.1
米国	5.1	8.6	6.1	0.0	▲29.4
スーダン	5.0	5.0	5.0	0.2	0.0
エチオピア	2.6	2.7	2.7	-	0.0
EU-27	6.1	1.1	1.0	-	▲9.1
貿易量	9.8	5.1	5.5	-	9.0
(輸出)					
米国	7.0	3.4	3.6	-	3.7
アルゼンチン	1.2	0.5	0.8	-	60.0
オーストラリア	0.8	0.8	0.8	-	0.0
ブラジル	0.1	0.1	0.1	-	0.0
中国	0.2	0.1	0.1	-	33.3
ナイジェリア	0.1	0.1	0.1	-	0.0
インド	0.1	0.1	0.0	-	▲50.0
(輸入)					
メキシコ	1.2	2.5	2.2	-	▲12.0
日本	1.1	1.5	1.4	-	▲10.0
EU-27	5.8	0.4	0.4	-	14.3
スーダン	0.3	0.3	0.3	-	0.0
チリ	0.4	0.3	0.3	-	0.0
イスラエル	0.1	0.1	0.1	-	50.0
ニジェール	0.1	0.1	0.1	-	0.0
期末在庫量	4.6	4.5	4.5	▲0.1	▲0.7
米国	1.3	1.3	1.3	0.0	1.0
メキシコ	0.4	0.6	0.7	-	17.5
スーダン	0.6	0.5	0.4	▲0.2	▲18.3
ナイジェリア	0.2	0.2	0.2	-	0.0
エチオピア	0.2	0.2	0.2	-	▲14.1
インド	0.2	0.2	0.2	-	▲14.1
アルゼンチン	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0
期末在庫率	7.2%	7.3%	7.2%	▲0.3	▲0.1

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」

(2) ソルガムの主要生産・輸出国等の需給状況

ア 米国

【需給状況】

米国の生産量は、収穫面積、単収ともに減少することが見込まれていることから前年度より2.3百万トン減少（▲19.4%）し、9.7百万トンとなる見込みである。

消費量は、食肉需要の減少に伴う飼料用需要の減少に加え、エタノール原料用需要も減少が見込まれることから前年度より2.5百万トン減少（▲29.4%）し、6.1百万トンとなる見込みである。

輸出量は、ソルガムの輸入が世界的には増加していることから前年度より0.2百万トン増加（3.7%）し、3.6百万トンとなる見込みである。

この結果、生産量が消費量と輸出量の計と均衡することから期末在庫量は前年度並の1.3百万トンとなり、期末在庫率は13.4%（2.8ポイント増）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、生産量がわずかに上方修正され、消費量がわずかに上方修正された。この結果、期末在庫量はわずかに上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

米国のソルガムの主要11州の出穂率は8月23日現在で84%となっており、前年度に比べ2ポイント進んでいるが、平年（過去5年平均）に比べ2ポイント遅れで進んでいる。着色率は40%となっており、前年度より6ポイント、平年より8ポイント遅れている。しかし、成熟率は30%と前年より1ポイント、平年より2ポイント進展している。なお、テキサス州やルイジアナ州では収穫が開始された。

作柄については、優良～良が50%と、前年度の同時期（53%）及び最終（53%）を下回っている。

我が国の輸入先国シェア 1位（2008年数量ベース 46.5%）
世界の生産量シェア 2位（2009/10年度 15.6%）
輸出量シェア 1位（2009/10年度 64.1%）

表-2 米国のソルガム需給（市場年度：9月～翌年8月）

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	12.6	12.0	9.7	0.0	▲ 19.4
消費量	5.1	8.6	6.1	0.0	▲ 29.4
うち飼料用	4.2	5.8	3.8	-	▲ 34.8
輸出量	7.0	3.4	3.6	-	3.7
輸入量	0.0	0.0	0.0	-	▲ 100.0
期末在庫量	1.3	1.3	1.3	0.0	1.0
期末在庫率	11.1%	10.6%	13.4%	0.1	2.8
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.75	2.94	2.41	▲ 0.01	▲ 18.0
単収(t/ha)	4.60	4.08	4.02	0.02	▲ 1.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」

○ 米国ソルガムの生育進捗状況及び作柄（8月23日現在）

〔生育進捗状況〕

出穂率 84%（平年差：▲2 p、前年差：+2 p）
着色率 40%（平年差：▲8 p、前年差：▲6 p）
成熟率 30%（平年差：+2 p、前年差：+1 p）
収穫率 27%（平年差：+3 p、前年差：+2 p）

〔作柄〕

		単位：%				
		優良	良	普通	不良	極不良
ソルガム	2009/10	8	42	29	10	11
	前年度同時期	9	44	34	10	3
	前年度最終	9	44	33	11	3

注：優良-Excellent、良-Good、普通-Fair、不良-Poor、極不良-Very Poor

資料：USDA「Crop Progress」

注：生育進捗状況の（ ）内は前年同時期及び同時期の平年値（過去5年）との比較である。

イ アルゼンチン

【需給状況】

アルゼンチンの生産量は、前年度の干ばつの影響により、作付けが見送られたり収穫不能となって減少した収穫面積が2007/08年度と同水準まで回復すること、主要生産地域で低下した単収が回復すると見込まれることから、前年度より1.6百万トン増加（98.8%）し、3.3百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用需要の増加から前年度より1.3百万トン増加（117.4%）し、2.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の増加に伴い前年度より0.3百万トン増加（60.0%）し、0.8百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度並みの、0.2百万トンとなり、期末在庫率は6.2%（6.2ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2007/08年度の消費量が0.1百万トン下方修正、輸出量が0.1百万トン上方修正されたため、2009/10年度の期首在庫量がわずかに上方修正された。その結果、2009/10年度の期末在庫量がわずかに上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

2008/09年度のアルゼンチンのソルガムの収穫は、おおむね終了した。

なお、2009/10年度の作付けは、例年10月頃から開始される。

ウ 中国

【需給状況】

中国の生産量は、収穫面積が減少することから前年度より0.1百万トン減少（▲5.6%）し、1.7百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.1百万トン減少（▲5.5%）し、1.6百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度並の0.1百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度並みの、0.5百万トンとなり、期末在庫率も29.4%（0.2ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

中国のソルガムの生育は、主産地の北東部で、6月以降、低温となり、洪水が発生したことにより平年より遅れていた。7月末以降、高温となり、遅れを少し取り戻したものの、乾燥による単収の減少懸念がある。

【貿易情報】

中国については、2007年12月に増値税の輸出還付を取り消し、2008年1月から輸出税を課していたが、12月1日からは、ソルガムの輸出税は撤廃されている。

（世界の輸出品シェア 2位（2009/10年度 14.4%））

表-3 アルゼンチンのソルガム需給
（市場年度：翌年3月～翌々年2月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	2.9	1.7	3.3 (3.3)	-	98.8
消費量	1.7	1.2	2.5 (2.6)	-	117.4
うち飼料用	1.5	1.0	2.3 (2.3)	-	142.1
輸 出 量	1.2	0.5	0.8 (0.7)	-	60.0
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	...
期末在庫量	0.2	0.2	0.2 (0.1)	0.0	0.0
期末在庫率	6.7%	12.4%	6.2% (1.5%)	1.2	▲6.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.62	0.45	0.70 (...)	-	55.6
単収(t/ha)	4.74	3.69	4.71 (...)	-	27.6

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
IGC 「Grain Market Report (30 July 2009)」

〔我が国の輸入先国シェア3位（2008年数量ベース 10.3%）〕
〔世界の輸出品シェア 4位（2009/10年度 1.8%）〕

表-4 中国のソルガム需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	1.9	1.8	1.7 (1.8)	-	▲5.6
消費量	2.1	1.7	1.6 (...)	-	▲5.5
うち飼料用	0.1	0.1	0.0 (...)	-	▲52.9
輸 出 量	0.2	0.1	0.1 (0.1)	-	33.3
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (...)	-	...
期末在庫量	0.5	0.5	0.5 (...)	-	▲4.7
期末在庫率	23.1%	29.7%	29.4% (...)	-	▲0.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.50	0.45	0.43 (...)	-	▲4.4
単収(t/ha)	3.84	4.00	3.98 (...)	-	▲0.5

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
IGC 「Grain Market Report (30 July 2009)」

エ オーストラリア

【需給状況】

オーストラリアの生産量は、収穫面積が減少すると見込まれることから、前年度より0.1百万トン減少（▲6.3%）し、2.3百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用需要の減少から前年度より0.1百万トン減少（▲6.2%）し、1.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度並みの、0.8百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度並みの、0.1百万トンとなり、期末在庫率も前年度並みの5.0%となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2007/08年度の消費量が0.1百万トン上方修正、輸出量がわずかに上方修正されたため、2009/10年度の期首在庫量がわずかに下方修正された。この結果、2009/10年度の期末在庫量が0.1百万トン下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

2008/09年度のオーストラリアのソルガムの収穫は、2月頃から始まり、6月上旬までに主要産地でほぼ終了した。

なお、2009/10年度の作付けは、9月頃から開始される。

オ インド

【需給状況】

インドの生産量は、単収が減少するものの、モンスーンの到来の遅れによる米からソルガムへ作付転換により収穫面積の増加が見込まれることから、前年度より0.8百万トン増加（10.5%）し、8.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、米の減産による食料用需要の増加に伴い、前年度より0.8百万トン増加（11.1%）し、8.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度並みの0.2百万トンとなり、期末在庫率は1.9%（0.5ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、生産量、消費量がそれぞれ0.5百万トン上方修正されたため、期末在庫量がわずかに下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

2009/10年度のカリフ（雨期）期の作付けは、6月から開始されている。8月13日までに、前年同期より10万ヘクタール（+3.9%）多い、約274.2万ヘクタールが作付けされている。

（我が国の輸入先国シェア2位（2008年数量ベース 35.4%）
世界の輸出量シェア 3位（2009/10年度 13.5%）

表-5 オーストラリアのソルガム需給
（市場年度：翌年3月～翌々年2月）

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(ABARE)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	3.1	2.4	2.3 (1.9)	-	▲ 6.3
消費量	2.2	1.6	1.5 (1.0)	-	▲ 6.2
うち飼料用	2.2	1.6	1.5 (1.0)	-	▲ 6.3
輸出量	0.8	0.8	0.8 (1.0)	-	0.0
輸入量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
期末在庫量	0.1	0.1	0.1 (…)	▲ 0.1	▲ 4.2
期末在庫率	2.4%	5.0%	5.0% (…)	▲ 2.7	0.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)※	1.03	0.80	0.75 (0.73)	-	▲ 6.3
単収(t/ha)	2.99	3.00	3.00 (2.67)	-	0.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」
ABARE「Australian crop report (16 June 2009)」(※ABAREは作付面積)

（世界の生産量シェア3位（2009/10年度 12.2%）

表-6 インドのソルガム需給（市場年度：11月～翌年10月）

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	7.9	7.2	8.0 (7.5)	0.5	10.5
消費量	7.9	7.2	8.0 (…)	0.5	11.1
うち飼料用	1.5	1.2	1.5 (…)	-	25.0
輸出量	0.1	0.1	0.0 (…)	-	▲ 50.0
輸入量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
期末在庫量	0.2	0.2	0.2 (…)	-	▲ 14.1
期末在庫率	2.3%	2.4%	1.9% (…)	▲ 0.1	▲ 0.5
(参考)					
収穫面積(百万ha)	7.93	7.50	8.80 (…)	1.10	17.3
単収(t/ha)	1.00	0.97	0.91 (…)	▲ 0.06	▲ 6.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」
IGC「Grain Market Report (30 July 2009)」